

総括質問

「竹の総合研究センター」の 設立で、竹資源活性化を



内田 三郎議員

内田三郎議員 竹については未解明な部分が多く、豊富な竹資源利活用は「ちくりんのまち」の命題として、総合研究センター設立構想は考えられないか。飼料化・食用化・薬用化・工業化・衣料化等々多様化研究は、安全県には「中国竹の博物館」がされたようであるが。

「博物館」等の 誘致運動を

北村町長 竹の主な活用は、早掘タケノコ、花器類が主体で、近年、竹炭・竹酢液が製造されている。製造法や利活用については、未解明な点が多く専門的な研究機関が少ない。全国竹産業連合会でも回

に要望の動きもあり、昨年末に鹿児島民舞学会から県議会に「竹の博物館」建設の請願が出され、本町へ協力依頼もあった。併せて当地域への誘致を国・県・関係機関へ行つていきたい。竹の飼料化・食用化・利活用への研究を県工業技術センターや県農産加工指導センター等関係機関に強く要望していきたい。

まちの駅に

「図書館」を

内田（三）議員 TMO構想のまちの駅は、全国の都市計画マスタープラン策定のなかで、図書館や視聴覚センター・交流センターはどのように反映されるのか。

公共的な集客

施設の検討を

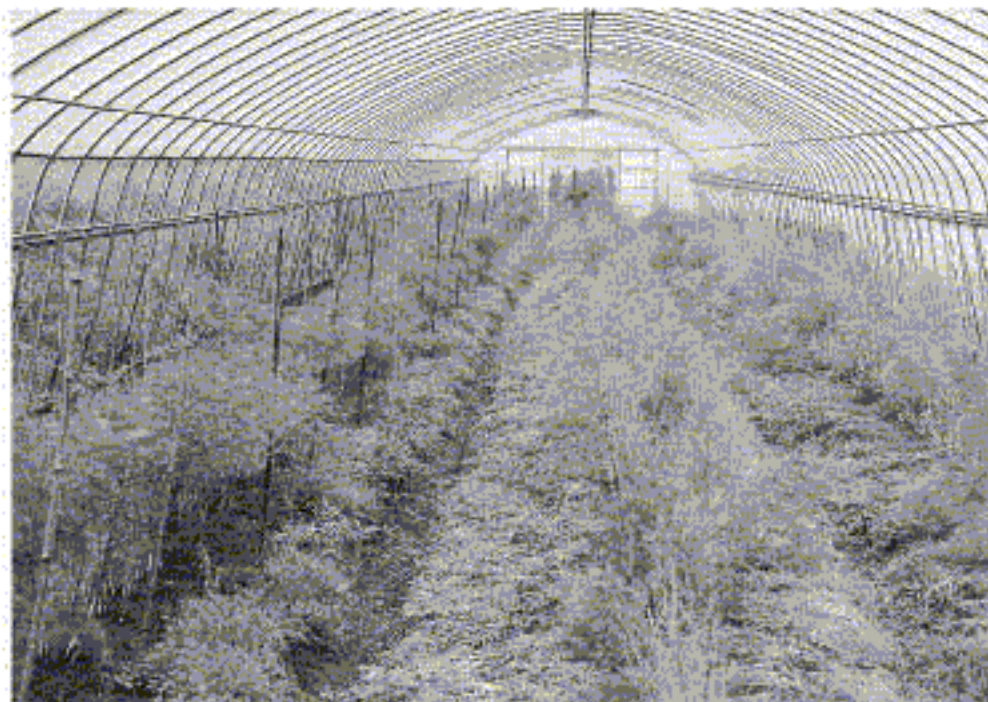
町長 まちの駅とは、道の駅の市街地版であり、交流の場・情報発信の拠点として、町の

シンボリックな施設で、サロン・休憩施設・製品の展示コーナー・フリーマーケット・研修の場機能等、公共的集客施設の整備計画もあるので、今後、図書館のことなどを含めて十分検討したい。

高齢者等の

共同農園は

内田（三）議員 高齢者や軽度の身心障害者を対象とした共同農園での心身のリフレッシュ・癒しの健康づくりは考



高齢者向け作物のひとつとして栽培されているアスパラガス（須杭地区）

えられないか。街の人が地方の遊休農地や休耕田を利用した方法はどうか。

ビニールハウス 等を推進

町長 現在、町老連の方々は、ビニールハウス助成事業で、園芸作物への取り組みも盛んである。また、一〇〇人の方々にコンニャク栽培同好会を結成され、自分で作ったコンニャク芋で、コンニャクづくりもされ、大変喜んでおられる。ビニールハウス助成は、三人の共同事業から一人でもできるように推進したい。